

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 公民 科目 現代の社会

教科：公民 科目：現代の社会 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 A組～B組

使用教科書：（東京法令出版『公共』＜190東法[公共712]>）

- 教科 公民 の目標：
- 【知識及び技能】 考察・選択・判断の手掛りとなる概念や理論について理解し、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、考察したり、公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れ構想したことを議論する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 現代の社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
公共的な空間における基本的原理の活用を土台に、「現代の社会」の諸課題を発展的に考察するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本における政治や経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について、多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、社会と関わる中で自らの役割の価値を見いだしていくことの大切さや、公共的な空間の中で地域の発展のために自らが果たす役割について理解を深めさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
「経済のしくみ」 【知識・技能】 ・市場経済・資本主義・金融など経済の基本的な概念を理解する。 【思考・判断・表現】 ・学習した概念を活用して、実際のニュースを読み解き、考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることの重要性についての自覚を深めさせる。	○経済のしくみ① ・経済活動と私たちの生活 ・市場のしくみ ・資本主義と社会主義 ・市場の失敗 ・現代の企業 ・金融のしくみと働き	「経済のしくみ①」 【知識・技能】 ・市場経済・資本主義・金融など経済の基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・学習した概念を活用して、実際のニュースを読み解き、考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることの重要性についての自覚を深めている。	○	○	○	12
定期考査と振り返り			○	○		2
「法」 【知識・技能】 ・法や裁判所に関する基礎的な概念を理解する。 【思考・判断・表現】 ・身近な契約について調べ、まとめて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・法や契約の重要性に関する自覚を深める。	○法	【知識・技能】 ・法や裁判所に関する基礎的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・身近な契約について調べ、まとめて表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・法や契約の重要性に関する自覚を深められている。	○	○	○	12
定期考査と振り返り			○	○		2

2 学 期	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりについて理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した概念を活用し、現実の国際社会における問題を考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における様々な問題に関心を持たせる。 	<p>○国際社会①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易と国際分業 ・外国為替のしくみと国際収支 ・戦後国際経済の枠組みと変化 ・グローバル化する経済 ・国際社会に関する調査 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりについて理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した概念を活用し、現実の国際社会における問題を考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における様々な問題に関心を持っている。 	○	○	○	15
	定期考査と振り返り			○	○		2
	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会で起きている具体的な事例について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した概念を活用し、国際社会における問題について調査し、考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における様々な問題に関心を持たせる。 	<p>○国際社会②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会が抱える問題 -南北問題 -新興市場国 -中東問題 -地球規模の諸課題 -地球環境問題 -世界各地の戦争 ・国際社会における問題の調査 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会で起きている具体的な事例について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した概念を活用し、国際社会における問題について調査し、考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における様々な問題に関心を持っている。 	○	○	○	15
	定期考査と振り返り			○	○		2
3 学 期	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間における基本的原理の活用を土台に、「現代の社会」の諸課題を発展的に考察するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本における政治や経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について、多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために何ができるかについて主体的に追究させる。 	<p>○探究学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで扱ってきたテーマの中から問いを立て、よりよい社会の実現を目指して情報の収集・整理・まとめ・発表を行う 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間における基本的原理の活用を土台に、「現代の社会」の諸課題を発展的に考察するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けることができている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本における政治や経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について、多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につけられている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために何ができるかについて主体的に追究することができている。 	○	○	○	14
	学年末考査			○	○		2
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ B 組

使用教科書：（ 数 I 708 「高校数学 I」 実教出版 ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 2次関数 1節「関数とグラフ」 【知識及び技能】 関数とは何かを理解するとともに、関数の値を求めたりグラフを書いたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの特徴や関数式とグラフとの関係性を考察する。また、グラフを書くために適切な式変形をする。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、2次関数のグラフを書こうとしたり、特徴をつかもうとしたりする。	指導内容 1 1次関数とそのグラフ 2 2次関数とそのグラフ 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 関数とは何かを理解するとともに、関数の値を求めたりグラフを書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの特徴や関数式とグラフとの関係性を考察できる。また、グラフを書くために適切な式変形ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、2次関数のグラフを書こうとしたり、特徴をつかもうとしたりしている。	○	○	○	12
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1
	単元 2次関数 1節「関数とグラフ」 【知識及び技能】 関数とは何かを理解するとともに、関数の値を求めたりグラフを書いたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの特徴や関数式とグラフとの関係性を考察する。また、グラフを書くために適切な式変形をする。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、2次関数のグラフを書いたり、特徴をつかもうとしたりする。	指導内容 1 2次関数とそのグラフ 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 関数とは何かを理解するとともに、関数の値を求めたりグラフを書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの特徴や関数式とグラフとの関係性を考察できる。また、グラフを書くために適切な式変形ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、2次関数のグラフを書こうとしたり、特徴をつかもうとしたりしている。	○	○	○	13
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1

2 学 期	<p>単元 2次関数 2節「2次関数の値の変化」</p> <p>【知識及び技能】 2次関数の特徴を意識しながら、最大値・最小値について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 最大値・最小値を求めるために、適切な式変形をする。定義域が設定された2次関数の最大値・最小値を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、2次関数の最大値・最小値を求めようとする。</p>	<p>指導内容 1 2次関数の最大値・最小値</p> <p>教材 教科書・プリントなど</p>	<p>【知識及び技能】 2次関数の特徴を意識しながら、最大値・最小値について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 最大値・最小値を求めるために、適切な式変形ができる。定義域が設定された2次関数の最大値・最小値を考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、2次関数の最大値・最小値を求めようとしている。</p>	○	○	○	9
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1
	<p>単元 2次関数 2節「2次関数の値の変化」</p> <p>【知識及び技能】 2次方程式を因数分解や解の公式で解けることを理解し、実際に解く。また、2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 判別式と共有点の関係やそれに伴う2次方程式の解の個数などを考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、2次関数と2次方程式の解との関係や共有点について考えようとする。</p>	<p>指導内容 1 2次関数のグラフと2次方程式</p> <p>教材 教科書・プリントなど</p>	<p>【知識及び技能】 2次方程式を因数分解や解の公式で解けることを理解し、実際に解くことができる。また、2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 判別式と共有点の関係やそれに伴う2次方程式の解の個数などを考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、2次関数と2次方程式の解との関係や共有点について考えようとしている。</p>	○	○	○	15
	<p>単元 三角比 1節「三角比」</p> <p>【知識及び技能】 相似や三平方の定理を振り返りながら、三角比について理解し、その値を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 三平方の定理を利用し、三角比の値が求められることを考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中学校で学んだ内容を振り返りながら、三角比の値を求めようとする。また、三角比の良さに気づこうとする。</p>	<p>指導内容 1 三角形 2 三角比</p> <p>教材 教科書・プリントなど</p>	<p>【知識及び技能】 相似や三平方の定理を振り返りながら、三角比について理解し、その値を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 三平方の定理を利用し、三角比の値が求められることを考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中学校で学んだ内容を振り返りながら、三角比の値を求めようとしている。また、三角比の良さに気づこうとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1

3 学 期	<p>単元 三角比 1節「三角比」</p> <p>【知識及び技能】 三角比の相互関係を理解し、具体的な長さや高さを求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相互関係を利用し、三角比の値や具体的な長さ・高さを求める際に利用できることを考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、具体的な長さや高さを求めようとする。また、三角比の相互関係の良さに気づこうとする。</p>	<p>指導内容</p> <p>1 三角比の利用 2 三角比の相互関係</p> <p>教材 教科書・プリントなど</p>	<p>【知識及び技能】 三角比の相互関係を理解し、具体的な長さや高さを求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相互関係を利用し、三角比の値や具体的な長さ・高さを求める際に利用できることを考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、具体的な長さや高さを求めようとしている。また、三角比の相互関係の良さに気づこうとしている。</p>	○	○	○	7	
	<p>単元 三角比 2節「三角比の応用」</p> <p>【知識及び技能】 各定理を用いて、辺の長さや面積などを求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 定理の意味や過程について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、各定理を用いている色々な三角形における辺の長さや面積を考えようとする。</p>	<p>指導内容</p> <p>1 三角形の面積 2 正弦定理 3 余弦定理</p> <p>教材 教科書・プリントなど</p>	<p>【知識及び技能】 各定理を用いて、辺の長さや面積などを求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 定理の意味や過程について考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、各定理を用いている色々な三角形における辺の長さや面積を考えようとしている。</p>	○	○	○	10	
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1	
							合計	78

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ B組

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 体づくり運動・体力テスト 【知識及び技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや、心身の状態に気づき、仲間と主体的に関わり合うこと必要性を理解しながら運動に取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、主体的に体づくり運動に取り組もうとしている。	・指導事項 準備体操やストレッチなどの簡単な運動を通して、生徒の自己の体を知り、継続して運動に取り組む大切さに気づく時間を設ける。 ・教材 東京アルファ、プリント、動画、記録用紙等 ・一人1台端末の活用 等 体力テストの入力・個々の体力の把握。	【知識・技能】 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教えあおうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	6
	B 陸上競技 【知識及び技能】 短距離走、リレーの局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があること、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	・指導事項 記録をもとに、自己や仲間合った走り方を考える時間を設ける。 ・教材 ストップウォッチ、バトン、スタートフラッグ等 ・一人1台端末の活用 等 走りの記録や、早く走るためのポイント調べ等。	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、測定の方法などについて理解している。短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ることやバトンの受渡して次走者と前走者の距離を長くすることができる。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	6
	C 球技（バドミントン） 【知識及び技能】 シャトルを相手のコートに打ち返すこと。ネット付近でシャトルをコントロールし、打ち返したりすること。腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手のコートに打ち込むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 バドミントンに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、互いに助け合い教えあおうとすることや健康・安全を確保しようとする。	・指導事項 個人の能力を高めるだけでなく、シングルス、ダブルスの試合を通して、対人で行う運動の経験を積み重ねる。 ・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等 ・一人1台端末の活用 等 授業アンケート等。	【知識・技能】 役割に応じたシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やペアが考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 バドミントンの学習に主体的に取り組もうとすること。相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとし、互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教えあおうとすること。健康・安全を確保しようとする。		○	○	○	12

2・3 学期	D 【選択球技】	<p>＜ネット型＞ バドミントン、卓球、バレーボール、テニス</p> <p>【知識及び技能】 サーブでは、ボールやシャトルをねらった場所に打つこと。ボールやシャトルを相手のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。ネット付近でボールやシャトルをコントロールし、打ち返したりすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。ルールを守り、勝敗を受け入れたりする場面、よりよいマナーや行為について自己を振り返る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ネット型球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや健康・安全を確保しようとする。</p>	<p>・指導事項 各運動の試合を通して、個人やチームでの運動経験を増やし、生徒が協力しながら運動できる時間を増やす。</p> <p>・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 授業アンケート等。</p>	<p>【知識・技能】 役割に応じたボールやシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。</p> <p>【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームが考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ネット型球技の学習に主体的に取り組もうとすること。相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとする。互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとすること。健康・安全を確保しようとする。</p>	○	○	○	52
	<p>＜ゴール型＞ バスケットボール、フットサル、タッチラグビー</p> <p>【知識及び技能】 ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引き付けてゴールから離れること。パスを出した後次に次のパスを受ける動きをすること。ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れること。ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。ゴール前の空いている場所をカバーすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。ルールを守り競走したり、勝敗を受け入れたりする場面、よりよいマナーや行為について自己を振り返ること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ゴール型の球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや健康・安全を確保しようとする。</p>	<p>・指導事項 チームとしてのまとまりの中で、生徒が協働して運動に取り組む経験を積み重ねる時間を増やす。</p> <p>・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 授業アンケート等。</p>	<p>【知識・技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、ゴール前への侵入などからの攻防をすることが出来る。</p> <p>【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームが考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ゴール型球技の学習に主体的に取り組もうとすること。相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとする。互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとすること。健康・安全を確保しようとする。</p>	○	○	○	2	
E 体育理論（2）運動やスポーツの効果的な学習の仕方	<p>【知識及び技能】 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、ケガや疾病の原因となる可能性があることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習について主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 生徒が体の機能や競技による特性と関連付けて学習できるようにする。</p> <p>・教材 スライド「スポーツにおける技能と体力」「効果的な動きのメカニズム」、プリント、動画等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 調べ学習や学習の振り返りを端末を使用して行う。</p>	<p>【知識・技能】 運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることや、運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷た一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することで、スポーツが未永く継続できることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見すること。運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などで他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツの効果的な学習に主体的に取り組もうとする。</p>	○	○	○	2	
						合計	78	

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

使用教科書：（ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A ライフステージと健康、思春期と健康、性意識と性行動の選択、妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶 【知識及び技能】 ライフステージと健康との関連や、思春期における体の変化、性意識と性行動の選択、妊娠・出産の課程における健康課題、家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯の各段階で健康を脅かす課題を見つけ、自分のこととして置き換えて意見をまとめることや、発言することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階で健康を保持増進するための考え方に興味をもち、主体的に学びを深めようとしている。	・指導事項 生涯の各段階で起こりうる身近な話題から、自己の健康への考え方を生徒が振り返ることができる時間を設ける。 ・教材 スライド 「ライフステージと健康」 「思春期と健康」 「性意識と性行動の選択」 「妊娠・出産と健康」 「避妊法と人工妊娠中絶」 プリント、動画等 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習や学習の振り返りを端末を使用して行う。	【知識・技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B 結婚生活と健康、中高年期と健康、働くことと健康、労働災害と健康、健康的な職業生活 【知識及び技能】 心身の発達と結婚生活の関係や、加齢ともなる心身の変化、働くことの意義と健康とのかわり、労働災害の種類とその原因、職場がおこなう健康に関する取り組みについて、例をあげて説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 学生生活を終えた後の職業生活について課題を考え、意見をまとめることや、発言することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 働きながら健康な生活を維持できる環境づくりについて進んで考えようとしている。	・指導事項 日常の生活習慣が、疾病の予防や健康の維持につながることを生徒が考える時間を設ける。 ・教材 スライド 「結婚生活と健康」 「中高年期と健康」 「働くことと健康」 「労働災害と健康」 「健康的な職業生活」 プリント、動画等 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習や学習の振り返りを端末を使用して行う。	【知識・技能】 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	○
2 学期	C 大気汚染と健康、水質汚濁・土壌汚染と健康、環境と健康にかかわる対策、ごみの処理と上下水道の整備 【知識及び技能】 大気汚染の原因と健康への影響や、水質汚濁・土壌汚染の原因とその健康影響、環境汚染による健康被害を防ぐ方法、ごみ処理の現状やその課題について、例をあげて説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境汚染の現状や、環境改善のための取り組みについて考え、意見をまとめることや、発言することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 環境汚染や、健康的に生活するための環境づくりについて主体的に考える。	・指導事項 生活の中で身近な環境汚染について触れながら、その背景にある理由を生徒が考える時間を設ける。 ・教材 スライド 「大気汚染と健康」 「水質汚濁・土壌汚染と健康」 「環境と健康にかかわる対策」 「ごみの処理と上下水道の整備」 プリント、動画等 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習や学習の振り返りを端末を使用して行う。	【知識・技能】 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	D 食品の安全性、食品衛生にかかわる活動 【知識及び技能】 食品の安全性と健康とのかわりや、食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の安全性と健康について考え、意見をまとめることや、発言することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品の安全性と健康とのかわりについて主体的に考えようとしている。	・指導事項 安全に食品が届く工程や、食中毒や食物アレルギーに触れながら、健康とのかわりを生徒が考える時間を設ける。 ・教材 スライド 「食品の安全性」 「食品衛生にかかわる活動」 プリント、動画等 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習や学習の振り返りを端末を使用して行う。	【知識・技能】 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

<p>E 保健サービスとその活用、医療サービスとその活用、医療品の制度とその活用</p> <p>【知識及び技能】 保健行政の役割や、わが国における医療保険のしくみ、医薬品の正しい使用方法について説明できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 保健サービスや医療サービス、医療品の活用について考え、意見をまとめることや、発言することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行政や医療サービスを利用するために必要な行動について主体的に考えようとしている。</p>	<p>・指導事項 地域で行われている行政や医療サービスに触れ、自分の健康を保持増進するために必要な行動について生徒が考える時間を設ける。</p> <p>・教材 スライド 「保健サービスとその活用」 「医療サービスとその活用」 「医療品の制度とその活用」 プリント、動画等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 調べ学習や学習の振り返りを端末を使用して行う。</p>	<p>【知識・技能】 生涯を通じて健康を保持増進するためには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性及び安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
<p>3 学 期</p> <p>F さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加</p> <p>【知識及び技能】 国際機関・民間機関などの保健活動や、健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 わが国や世界で行われている保健活動について考え、意見をまとめることや、発言することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 保健活動を通じた健康的な環境づくりについて主体的に考えようとしている。</p>	<p>・指導事項 健康のための保健活動や社会的対策から自分の健康的な環境づくりについて生徒が考える時間を設ける。</p> <p>・教材 スライド 「さまざまな保健活動や社会的対策」 「健康に関する環境づくりと社会参加」 プリント、動画等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 調べ学習や学習の振り返りを端末を使用して行う。</p>	<p>【知識・技能】 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解している。自他の健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
						合計
						39

年間授業計画

都立葛飾商業高等学校 令和8年度(2学年用) 英語コミュニケーションⅠ

教科: 外国語(英語) 科目: 英語コミュニケーションⅠ 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第2学年 A組~ B組

使用教科書: 「Amity English CommunicationⅠ」(開隆堂)

教科 外国語(英語) の目標:

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際に英語を用いた言語活動を通して、英語の音声、句読法、語彙、文構造及び文法事項について理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを活用して適切に表現して伝えることができるようになる。	異文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (や)	書					
Lesson6 Our School 【知識及び技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 学校での生活について、適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えようとする態度を身に付ける。	・英語での自己紹介 ・品詞について ・辞書の見方 ・be動詞・一般動詞の現在形 ・お気に入りを紹介する表現 ・学校での生活についての会話 ・発音の強弱について ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	16
定期考査	・単元の内容理解を確認する。	○			○	○	○	○	○	1
Lesson7 Serendipity 【知識及び技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 センディビティについて、適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 センディビティについて、考えや気持ちを話して伝えようとする態度を身に付ける。	・本単元の文法事項 ・人を紹介する表現 ・登場人物についての会話 ・主語と述語動詞について ・センディビティについての発表 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	16
定期考査	・単元の内容理解を確認する。	○			○	○	○	○	○	1
Lesson8 Sapceurs 【知識及び技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 だれかからもらった大切なものについて適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 だれかからもらった大切なものについて、考えや気持ちを話して伝えようとする態度を身に付ける。	・本単元の文法事項 ・感想・意見を述べる表現 ・だれかからもらった大切なものについてについての会話 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用 ・時制・相・法の関係について	○	○	○	○	○	○	○	○	16
定期考査	・単元の内容理解を確認する。	○			○	○	○	○	○	1
Lesson9 Special Makeup Effects 【知識及び技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな映画について、適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えようとする態度を身に付ける。	・本単元の文法事項 ・好きな物事について述べる表現 ・好きな映画についての会話 ・繰り返しを避ける表現について ・好きな映画についての発表 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用 ・時制・相・法の関係について	○	○	○	○	○	○	○	○	13
定期考査	・単元の内容理解を確認する。	○			○	○	○	○	○	1
Lesson10 Clean Water 【知識及び技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな飲み物や将来の夢などについて、適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えようとする態度を身に付ける。	・本単元の文法事項 ・好きな飲み物や将来の夢などについての会話 ・好きな飲み物や将来の夢などについての発表 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用 ・時制・相・法の関係について	○	○	○	○	○	○	○	○	12
定期考査	・単元の内容理解を確認する。	○			○	○	○	○	○	1
計										78

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用）

教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A組、B組

使用教科書：（「未来へつなぐ家庭総合365」 教育図書）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】人間の発達と家庭生活を総合的に捉え、生活における基礎的な技術と知識を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域社会における生活上の課題を見つけ、解決策を見つけながら課題解決の力を養う

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会構築のため、互いに協働しながら生活文化を継承し、生活の充実向上を目指す態度を養う

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家庭生活、福祉、衣食住、消費生活、環境等について、生活を総合的に捉え、基礎的な知識と技能を身に付ける	家庭生活、福祉、衣食住、消費生活、環境等における課題を見つけ、解決策を考えながら課題解決の力を養う	よりよい社会構築を目指し、互いに協働しながら生活文化を継承し、生活の充実向上を目指す態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A編 第1章 生涯の生活設計1・2 【知識及び技能】 ライフステージの特徴や多様な生き方の基礎知識を理解する 【思考力・判断力、表現力等】 ライフステージの特徴を踏まえ、自身の生き方を振り返る 【学びに向かう力、人間性等】 自身の生き方を振り返り、学習内容を自立した生活につなげる	【指導事項】 ・あなたの将来どうする？ ・自分の人生を豊かにしよう 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 ライフステージの特徴や多様な生き方の基礎知識を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴を踏まえ、自身の生き方を振り返っている 【学びに向かう力、人間性等】 自身の生き方を振り返り、学習内容を自立した生活につなげている	○	○	○	4
	B編 第3章 住生活と住環境 【知識及び技能】 安全で快適な住環境を科学、環境の面から理解する 【思考力、判断力、表現力等】 安全で快適な住環境を踏まえ、住環境の改善を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 安全で快適な住環境を主体的に改善する	【指導事項】 ・どのような家に住みたい？ ・安全に住もう ・快適に住もう ・住まいの課題と未来の暮らし 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 安全で快適な住環境を科学、環境の面から理解している 【思考力、判断力、表現力等】 安全で快適な住環境を踏まえ、住環境の改善を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 安全で快適な住環境を主体的に改善している	○	○	○	20
	期末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
2 学期	A編 第2章 青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】 青年期における自立と家族、家庭の役割を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自己を見つめ、家族、家庭の多様なあり方を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 多様な生き方と幅広い家族、家庭のあり方を尊重する	【指導事項】 ・自立への一歩を踏み出そう ・家族・家庭って何？ ・将来の自分と家庭を想像する 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 青年期における自立と家族、家庭の役割を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 自己を見つめ、家族、家庭の多様なあり方を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 多様な生き方と幅広い家族、家庭のあり方を尊重している	○	○	○	16
	A編 第3章 子どもの生活と保育 【知識及び技能】 子どもの成長、発達、文化、生活、福祉、関係法規を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 子育てにおける歴史や文化的背景を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 子育てにおける親や社会の役割を主体的に学ぶ	【指導事項】 ・子どもはどう育つ？ ・子どもとどうかかわろう？ ・これからの子育てとは？ 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・体験実習キット ・タブレット端末	【知識及び技能】 子どもの成長、発達、文化、生活、福祉、関係法規を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 子育てにおける歴史や文化的背景を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 子育てにおける親や社会の役割を主体的に学んでいる	○	○	○	16
	期末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
3 学期	C編 第1章 生活における経済の計画 【知識及び技能】 金銭管理の基礎的な知識と技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 収入と支出の均衡を保つための金銭管理の方法を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 現在、未来に向けた適切な金銭管理を学ぶ	【指導事項】 ・将来に向けて家計を考えよう ・将来の経済計画を立ててみよう 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 金銭管理の基礎的な知識と技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 収入と支出の均衡を保つための金銭管理の方法を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 現在、未来に向けた適切な金銭管理を学んでいる	○	○	○	8
	C編 第2章 消費生活と意思決定 【知識及び技能】 消費者の権利と義務、契約や諸問題と背景を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 入手可能な情報から適切な消費行動を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 消費者に関わるあらゆる事項を自分事として考える	【指導事項】 ・何をどうやって買う？ ・かしこい消費者になろう 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 消費者の権利と義務、契約や諸問題と背景を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 入手可能な情報から適切な消費行動を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 消費者に関わるあらゆる事項を自分事として考えている	○	○	○	8
	学年末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
D編「学校家庭クラブ」は学校行事と関連させ、D編「ホームプロジェクト」は各分野を総合させ、それぞれ生徒の実態に応じて内容を選定し、適宜実施する						合計	78

葛飾商業 高等学校 令和 8 年度 (2 学年用) 教科

情報 科目 情報 I

教科： 情報

科目： 情報 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組

使用教科書： (183 第一 情 I 713 高等学校 情報 I)

教科 情報

教科の目標： 情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度

【知識及び技能】

情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
1 学 期	情報社会を見渡す。 【知識及び技能】情報技術の発達による社会の変化新たな課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】情報技術の利用と発達の場面で適切に情報活用ができる。 【学びに向かう力、人間性等】情報技術の様々な課題に対して解決策を主体的に対応させる。	・指導事項 情報社会と情報通信技術 SNSの普及と情報モラル 情報社会を支える法律 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】情報技術と情報社会の関連性を理解している。 【思考・判断・表現】情報技術の利用について適切に判断し活用出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】情報技術の様々な課題について主体的に活用できているか。	○	○	○	11
	情報デザインとメディアコミュニケーション 【知識及び技能】情報を伝えるためのメディアとデザインの基本を理解活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】情報を伝える目的に合わせた手段を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】あらゆる情報デザイン技術に対して解決策を主体的に対応させる。	・指導事項 コミュニケーションメディア ソーシャルメディア 情報デザイン技術 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】情報を伝える技術を適切に活用できている。 【思考・判断・表現】情報を伝える目的に適した情報技術を活用出来ているか。 【主体的に学習に取り組む態度】あらゆる情報デザイン技術に対して主体的に解決出来ている。	○	○	○	12
	情報デザインとデジタル化 【知識及び技能】アナログからデジタルへの特徴を理解しデジタルデータの活用を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】デジタル化されたデータの適切に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】デジタル化されたデータの活用に興味をもたせる。	・指導事項 文字音声のデジタル化 画像と動画のデジタル化 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】アナログからデジタルへの変換技術を活用出来ている。 【思考・判断・表現】デジタル化されたデータを適切に使用し表現出来ている。 【主体的に学習に取り組む態度】デジタル化の技術に興味を持って実習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	コンピュータの仕組み 【知識及び技能】コンピュータの構成と仕組みについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】プログラム処理と作業効率関係を表現考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】CPUの機能を主体的に調べさせる。	・指導事項 コンピュータの構成 CPUとメインメモリ CPUの動作 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】コンピュータの構成と仕組みについて理解出来ている。 【思考・判断・表現】プログラム処理と作業効率の関連性を表現出来ている。 【主体的に学習に取り組む態度】コンピュータの機能を主体的に調べてまとめている。	○	○	○	14
1 学期、内容の確認とまとめ				○	○		1
2 学 期	アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】コンピュータのアルゴリズム順次分岐反復の理解し活用出来る。 【思考力、判断力、表現力等】プログラムリストの適切な扱い方を出来るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】プログラミングに主体的に取り組めるようにする。	・指導事項 手順とアルゴリズム プログラムと言語 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】コンピュータのアルゴリズム順次分岐反復の理解し活用出来る。 【思考・判断・表現】プログラムリストの適切な扱い方が出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】プログラミングに主体的に取り組む完成出来ている。	○	○	○	22
	モデル化とシミュレーション 【知識及び技能】モデル化の目的とシミュレーションについて理解出来る。 【思考力、判断力、表現力等】モデル化の手順と結果を考察し表現出来るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】モデル化が生活の中で生かされる場面を主体的に考え活用出来る。	・指導事項 モデル化とは モデルを利用した問題解決 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】モデル化の目的とシミュレーションについて理解出来る。 【思考・判断・表現】モデル化の手順と結果を考察し表現出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】モデル化が生活の中で生かされる場面を主体的に考え活用出来る。	○	○	○	21
2 学期、内容の確認とまとめ				○	○		1
3 学 期	情報通信ネットワーク 【知識及び技能】情報通信ネットワークの基本構成仕組みを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】ネットワークの適切な利用と活用出来るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】情報通信技術に興味関心を持って主体的に活用出来る。	・指導事項 情報通信ネットワーク データ伝送、IPアドレス インターネット、メール ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】情報通信ネットワークの基本構成仕組みを理解出来る。 【思考・判断・表現】情報通信ネットワークの基本構成仕組みを理解出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】ネットワークの適切な利用と活用出来るようにする。	○	○	○	12
	情報システムとデータベースの活用 【知識及び技能】データの性質と特徴について理解出来る。 【思考力、判断力、表現力等】集計した数値データやテキストデータの分析考察出来る。 【学びに向かう力、人間性等】データの収集と加工、分析などの問題に主体的に取り組ませる。	・指導事項 情報サービスとシステム データベース データ収集と分析 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】データの性質と特徴について理解し活用出来る。 【思考・判断・表現】集計した数値データやテキストデータの分析考察的的確に出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】データの収集と加工、分析などの問題に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
3 学期、内容の確認とまとめ				○	○		1
							合計
							117

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（2学年用）教科 商業 科目 簿記

教科：商業 科目：簿記 単位数：3 単位
 対象学年組：第2学年 B組～ 組

使用教科書：（現代簿記（190東法 商業711））

教科 商業 の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人としての必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的にりかいるとともに、関連する技統を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人としての必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的にかつ協動的に取り組む態度を養う

科目 簿記 の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける	取引の記録と財務諸表の作成の方法的妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠にもとづいて創造的に課題に対応する力を養う	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指してみずから学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的にかつ協動的に取り組む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当数
				知	思	態	
1 学期	第1章企業の簿記、第2章資産・負債・純資産、第3章収益・費用 【知識及び技能】 簿記の意味、前提、目的、種類、歴史及び簿記が企業の経営活動を会計帳簿に記録し、計算・表示するものであることについて理解します 【思考力、判断力、表現力等】 資産・負債・純資産・収益・費用について、具体的なイメージを持ち自分自身の言葉で表現しようとしている 【学びに向かう力、人間性等】 5要素の基本概念や具体例、貸借対照表や損益計算書の役割・構造など簿記の基礎的な知識を主体的かつ積極的に学習しようとしている	・指導事項 簿記の概要・一巡の手続き・会計帳簿 ・教科書 ・副教材	【知識・技能】 企業における簿記の意味・目的・種類・歴史にかんする基礎的知識を身につけ、簿記を学ぶことの必要性や重要性について理解している 【思考・判断・表現】 企業における簿記の意味・前提・目的・種類・歴史について思考を深め、簿記の必要性と重要性を考え、自分自身の言葉で表現しようとしている 【主体的に学習に取り組む態度】 企業における簿記の意味・前提・目的・種類・歴史について自ら学び、簿記の必要性を理解したうえで、簿記の学習に主体的にかつ協動的に取り組もうとしている	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	第4章取引と勘定、第5章仕訳帳と総勘定元帳 【知識及び技能】 取引と使用する勘定科目について理解します 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な仕訳を元に仕訳の構成や転記の仕訳について学習します 【学びに向かう力、人間性等】 取引やそれともなう記帳方法について自ら学び、各取引の仕訳の方法と帳簿への記入方法を主体的かつ積極的に身に付けようとしている	・仕訳の仕組みと転記の関連 ・教科書 ・各帳簿 ・副教材	【知識・技能】 取引に関する基本的な仕訳について理解している 【思考・判断・表現】 各帳簿の記帳方法と転記の方法を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 それともなう制度の仕組みについて自ら学び、各取引の仕訳の方法や各種補助簿への記入方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている	○	○	○	22
定期考査			○	○		1	
2 学期	第6章 現金と預金の記帳、第7章商品売買の記帳 【知識及び技能】 簿記上の現金の入金と出金の仕訳、現金出納帳の作成方法、現金不足の記帳方法、売掛金に関する仕訳、元帳の記入方法、および売掛金勘定と売掛金元帳の関係について学習します 【思考力、判断力、表現力等】 売掛金勘定と売掛金元帳、買掛金勘定と買掛金元帳の関係性について考え、自分自身の言葉で表現しようとしている 【学びに向かう力、人間性等】 仕訳を中心として自ら学び、各取引の仕訳の方法と帳簿への記	・預金、掛け取引の記帳 ・各帳簿 ・教科書 ・副教材	【知識・技能】 簿記上の現金・現金過不足・当座預金・当座借越・小口現金・売掛金及び買掛金に関する基本的な取引および仕訳について理解している 【思考・判断・表現】 現金や預金に関する取引と、掛け取引が補助元帳にも記入される理由について考えようとしている 【主体的に学習に取り組む態度】 現金預金小口現金に関する取引や、売掛金及び買掛金に関する取引について自ら学び、各取引の仕訳の方法や各種補助簿への記入方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	第9章手形取引の記帳、第10章その他の債権債務第11章有価証券の記帳、第12章固定資産、第13章純資産の記帳 【知識及び技能】 手形と有価証券、債権債務に関する仕訳、様々な仕訳について学習します 【思考力、判断力、表現力等】 各勘定科目の関係性について考え、自分自身の言葉で表現しようとしている 【学びに向かう力、人間性等】 数多くの勘定科目を区別し自ら学び、各取引の仕訳の方法と帳簿への記入方法を主体的かつ積極的に身に付けようとしている	・手形取引、その他の債権債務と各資産の記帳、各仕訳問題 ・各帳簿 ・教科書 ・副教材	【知識・技能】 勘定科目を分類し適切な使い分けについて理解している 【思考・判断・表現】 仕訳の問題からどの勘定科目を使用するかを判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 手形の意味や種類、債権債務に関する取引について自ら学び、各取引の仕訳の方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている	○	○	○	24
定期考査			○	○		1	
3 学期	第14章決算の取引、第15章総合問題 【知識及び技能】 決算から利益を計算する方法と検定試験について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 決算に関する仕訳を学習し各種帳票類の作成を学習します 【学びに向かう力、人間性等】 実践力・応用力を身につけて様々な問題に主体的に取り組む	・決算取引と検定問題の取り組み ・各帳簿 ・教科書 ・副教材	【知識・技能】 決算整理事項から当期純利益の計算まで、決算の一連の流れについて理解している 【思考・判断・表現】 難易度の異なる各問題に対応し問題解決に について考えようとしている 【主体的に学習に取り組む態度】 取引の仕訳の方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
						合計	117

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 情報処理

教科：商業 科目：情報処理 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 A組～ B組

使用教科書：（教科書 商業715「最新情報処理」）

- 教科 商業 の目標：
 【知識及び技能】商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うこと
 【思考力、判断力、表現力等】ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の持続的な発展することを思考する
 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成すること

科目 情報処理	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	企業における情報を扱うことについて体系的に理解し関連する技術を身に付けている。	企業における情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指し自ら学び、情報を適切に扱うことを主体的・協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 企業活動と情報処理 1節 情報処理の重要性 【知識及び技能】 情報とは何かを考える学習活動により、情報の意義と役割を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータを利用した情報の処理や活用の重要性を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 ICT人材に求められる役割と身につけるべき能力の概要を理解する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報の意義と重要性について考え、説明することができたか 【思考・判断・表現】 情報システムの構成や処理方式の概要を理解し、具体的な利用例を説明できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身につけようとする態度を持ったか	○	○	○	2
	2節 情報モラルと法規 【知識及び技能】 情報の価値を考える学習活動 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性と、その概要を理解する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報モラルにもとづいた正しい行動のあり方を考え、説明することができたか 【思考・判断・表現】 ネットワーク社会の危険性に気づき、対策を理解することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 法令を遵守しようとする態度を身に付けたか	○	○	○	2
	3節 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 企業における適切な情報処理について理解 【思考力、判断力、表現力等】 企業における情報処理について自ら学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 関連する技術を身に付ける	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報デザインについて理解する 【思考・判断・表現】 情報デザインの意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだせる 【主体的に学習に取り組む態度】 適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている	○	○	○	2
	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要 【知識及び技能】 コンピュータの基本的な機能と構成を理解 【思考力、判断力、表現力等】 ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 活用する基本的な技術を身に付ける	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 コンピュータの基本的な機能と構成を理解 【思考・判断・表現】 ビジネスに活用できるハードウェアとソフトウェアを適切に構成 【主体的に学習に取り組む態度】 機能を活用することができる	○	○	○	2
	2節 情報通信ネットワークのしくみと構成 【知識及び技能】 情報通信ネットワークを利用 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネス情報の検索 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 効率的な検索ができるか 【思考・判断・表現】 情報の価値や正確性について理解 【主体的に学習に取り組む態度】 検索・収集にインターネットを利用することに興味を持つ	○	○	○	2
	3節 インターネットの活用 【知識及び技能】 情報の価値を考える学習活動 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 電子メールの利用方法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 電子メールを適切に利用できるか 【思考・判断・表現】 電子メールの危険性などについて理解 【主体的に学習に取り組む態度】 電子メールのマナーなどについて興味を持つ	○	○	○	2
	4節 情報セキュリティの確保 【知識及び技能】 情報化社会に参画する 【思考力、判断力、表現力等】 個人が身につけるべきセキュリティ管理 【学びに向かう力、人間性等】 セキュリティ管理の方法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解 【思考・判断・表現】 セキュリティ対策などを考察できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持つ	○	○	○	2
	定期考査			○	○		0
	3章 情報の集計と分析 1節 ビジネスと統計 【知識及び技能】 情報の重要性を理解 【思考力、判断力、表現力等】 情報を分析 【学びに向かう力、人間性等】 傾向を把握する能力	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解 【思考・判断・表現】 セキュリティ対策などを考察できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持つ	○	○	○	5
	2節 関数を利用した表の作成 【知識及び技能】 基本的な操作 【思考力、判断力、表現力等】 計算式及び関数について理解 【学びに向かう力、人間性等】 目的に応じて適切な表の作成する技術	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 基本的な操作について理解 【思考・判断・表現】 関数等について理解 【主体的に学習に取り組む態度】 適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組む	○	○	○	5

